

院内がん登録データを用いた食道癌内視鏡治療後の重複癌に関する研究

1. 研究の対象

1994年から2011年までの期間に当院で食道癌に対し内視鏡切除を受けられた方

2. 研究目的・方法

1. 目的

食道癌と頭頸部癌の重複が多い事については以前より知られているが、これらの癌については若年者での重複をしばしば経験する。今回、食道癌治療時の年齢とその後の重複癌の発生との関連を評価するため、がん登録データによって得られた統計情報を用いて解析を行う。

2. 方法

1994年から2011年までの期間に当院で食道癌に対し内視鏡治療を施行した症例のうち、院内がん登録データに登録されている方を対象とする。内視鏡治療時の年齢とその後のがん発生の有無や部位などと年齢の関係について後ろ向きに解析を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:カルテ番号、内視鏡の治療歴、院内がん登録データ情報、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

大阪国際がんセンター 消化管内科 診療主任 前川 聡 (研究責任者)

住所:〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181

以上